

第六章 カーディフ丘の家

男の子たちは皆、宝物を見つけたがるものですが、トムもまたそうでした。

ある暑い夏の日、トムはハックに自分の考えについて話しました。

「素晴らしい考えだ！」とハックはうれしそうに言いました

「でも俺たちはどこで宝物を探すことができるだろう？」

「ええと、泥棒たちは宝物を大きな木の下や古い家の中に置くんだ」とトムは言いました。

「カーディフ丘の上に古い家があるんだ、僕たちはその家のそばの大きな木の下を掘り始めればいいさ。さあ行こう、ハック！」

トムとハックがカーディフ丘へ歩いて行き、大きな木の下を掘り始めたのは、暑く、晴れた日でした。

二人は数時間掘りましたが、何も見つかりませんでした。

「僕は暑いし、疲れたよ」とトムが言いました。

「それにこの木の下には何も無い。あの幽霊屋敷へ行こう。そこには誰も住んでいないし、幽霊屋敷には宝物があることだってあるんだ」

「幽霊屋敷だって！」とハックは叫びました。

「でも幽霊屋敷には幽霊がいるんだぞ。俺は行きたくない」

「幽霊は夜にだけ出てくるんだ」とトムは言いました。

「今は昼間だ。さあ来いよ、ハック」

「うーん、分かったよ」と、まだおじけづいていたハックは言いました。

幽霊屋敷は古びた、ぞっとするような場所でした。

二人はドアを開け、静かに中に入りました。

二人が辺りを見回すと、全てのものが古びて壊れていました。

誰もそこに住んでいませんでした。

彼らは一階の全ての部屋を探しましたが、宝物は何も見つかりませんでした。

トムとハックは二階へ行き、辺りを見回しました。

「しっ！」とトムが言いました。

「何だ？」とハックはささやきました。

「幽霊が聞こえるのか？」

「いや」とトムは言いました。

「動かないで！」

古い木の床には穴があいていました。

その穴を通して、彼らは一階の部屋を見ることができました。

「ああ、何てことだ！」とトムがささやきました。

「見てくれ！ 今一階に二人の男がいる」

一人は長い白髪で大きな帽子をかぶっている、年老いたスペイン人の男でした。

もう一人の男は背が低く、汚れた服を着ていました。

彼らは話をしていました。

「二人の話を聞こう」とトムはささやきました。

「ここは暑すぎるし、俺は疲れているんだ」と年老いたスペイン人の男が言いました。少年たちは彼の声を聞いて、おびえました。

「あれはスペイン人の男じゃないよ。インジャン・ジョーだ！」とハックがささやきました。

「俺には彼の声分かるんだ」

少年たちの顔は青ざめました。

インジャン・ジョーは自分のことを誰にも気付かれなくなかったので、年老いたスペイン人の男の身なりをしていました。

「俺たちは銀貨の650ドルをどうしようかね？」と、インジャン・ジョーの友人が言いました。

「ありゃあうまい強盗だったな！」

「まあ、今のところは30ドル取っていくとして、そのかばんはここに隠しておこう」とインジャン・ジョーは言いました。

「誰もこの隠し場所を知らないんだ。すぐに戻って来てそれを手に入れればいいさ」背の低い男は暖炉の大きな石を動かし、かばんを引っ張り出しました。

彼はそのかばんから、いくらかのお金を取りました。

そしてインジャン・ジョーは自分のナイフで暖炉のそばを掘り始めました。

一階には本物の宝物があり、トムとハックは興奮していました！

650ドルは二人の若い少年にとっては、素晴らしい宝物だったのです。

突然、インジャン・ジョーは掘るのを止めました。

「ここに何かあるぞ！」と彼は興奮して言いました。

「箱だと思う」

インジャン・ジョーは古びた箱を見つけ、それをゆっくりと開けました。

「金だ！」とインジャン・ジョーは叫びました。

「この箱は金貨でいっぱいだ…俺たちは金持ちだぞ！」

二人の男は金貨を眺め、笑いました。

トムとハックも喜んでいました。

「これはここに住んでいた家族の宝だ、そして今やもう俺たちの物だ」とインジャン・ジョーが硬貨を眺めながら言いました。

「これらの硬貨全部をどこに隠せばいいだろう？」と友人は尋ねました。

「その石の下に箱を戻せるか？」

「いや、いや」とインジャン・ジョーは言いました、その箱を隠すのにもっといい場所を考えていたのです。

「ここはいい場所じゃない。それを隠すのにもっといい場所を知っている。外が暗くなるまで待って、それから十字架の下にそれを隠すぞ。誰もその隠し場所について知らないんだ」

暗くなると、二人の男はその箱を運び去りました。

トムとハックはインジャン・ジョーを恐れていたため、彼らの後を追いませんでした。

しかしその十字架はどこだったのだろうか？

トムとハックは、十字架と大きな宝物を見つけないかと思っていました。